

女性部だより

日本婦人団体連合会への加盟について

6月16日(水)17日の2日間、東京全労連会館2階ホールにおいて全日本年金者組合第27回定期大会が開催されました。その中で第3号議案として提起され今大会で審議し、加盟することを承認・決定しました。

「日本婦人団体連合会」とは、平和を願う全国の女性の力を合わせる事を目標に1953年4月に結成されました。目的は、女性の生活と権利、地位向上、子どもの幸せ、平和と民主主義、女性解放の実現のために、思想、信条などあらゆる違いを乗り越え、広く女性が手を繋ぎ、そして信頼と連帯を深め協力しあい、共に同じ運動することです。



撤廃委員会の日本審査に合せて「日本婦人団体連合会」と年金者組合からの代表2人も要請行動に参加しました。こうした共同を広げることは現役世代と高齢者の分断を目論む勢力に反撃するものです。

部長 柏原 美子

労連女性部委員会に参加して

6月18日(水)午後6時30分から国労会館で女性部が仕事を終えて集合し私達年金者組合員も同じ闘う女性として4人参加しました。

実は私たちがその日は朝の9時から家を出て、年金者組合府本部女性部第32回総会に向けての議案を検討・校正して一日会議でした。そして天神橋の食堂で夕ご飯を食べながら、この会議に臨み午後8時半まで質疑討論で家に帰ると午後9時半を過ぎていました。



70歳を超えて今の情勢や問題点等若い人の声も聞き、年金者組合の今の取り組みやマクロ経済スライド、女性の低年金、最低保障年金の創設等わかり易い説明でゆつくり渡辺副部長が話すと若い

人たちはとても興味を持ってくれてもっと教えて欲しいとの声が上がりました。



労連委員会で発言する渡辺副部長

中西 久美子

2025年春闘の取り組みの報告があり、「菜の花」行動大阪メーデー、非正規の集いなどが熱く報告されました。討論では、大阪自治労連婦人部、全国一般など各団体から活発な発言がありました。

府本部女性部から渡辺副部長が、年金問題、マクロ経済スライドについて話し各団体のエキスパートが集まる講演会のような感じでした。府本部女性部が労連において一翼を担っているのではないかと感じた一日でした。

入江 いづみ

長年現場で働いてきた者としては現在の職場環境に興味がありました。

教員の長時間過密労働を解消するために残業について適切に報酬を支払う制度の確立が国際機関から勧告されていること。先進国が加盟するOECDの主要29カ国中27位で、長年に亘り人々との間に振りまかれてきた固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込みなども間もなく年金者組合に迎え入れる人達と共に解消していかねばと思いを新たにしました。



渡辺 恭子

「きれい」の敵は「まあいいか」

「きれい」になるために皆さんは何か日々していることはありますか。「きれい」になるためのコツって？それはまず自分をよく知ることから始まります。そして心の持ち方。年を重ねると「めんどくさい、まあいいか」はおぼろの第一歩。女は年を重ねても「きれい」の方がいいんですよ。いつまでも女性は華。

女性が働きにくい国ワースト3です。50年前よりもジェンダー平等は進展したとはいえまだまだ現場の状況は厳しいことが会場の参加者の少なさからもうかがい知れました。

お知らせ
第1回女性部委員会
令和7年7月16日(水)総会終了後グリーン会館2階
宣伝行動は総会の為休止
第32回府本部女性部総会
令和7年7月16日(水)
午後1時30分～4時迄グリーン会館2階大ホールにて
同日バザーも開催します。
家で眠っている小物、服、アクセサリー、鞆など
7月10日までに支部役員に届け
るか府本部まで。
(新品・中古どちらでも)
宜しくお願い致します。